# 追浜あんす 通信 **Oppama Anzu Press**

**第19号** 2020年5月 発行:特定非営利活動法人 アクションおっぱま

# 貝山地下壕一般公開の再開と アクションおっぱまの役割

東日本大震災以降一般の入壕が認められな かった貝山地下壕が、横須賀市として安全を確 保するための整備工事を施した上で公開の運び となったことは、これまでもお伝えしてきまし た。すでに整備工事に関する予算も通過して、予 定では2020年度に工事を実施し、年度内に一般 公開となっておりましたが、新型コロナウイル スの感染拡大により、所管する公園管理課から、 工事の遅れは避けられない旨連絡がありまし た。従って、公開時期も今のところ未定です。

2020年1月には横須賀市によるガイド養成 講座も始まったのですが、これも途中から延期 になっており、再開の期日も決まっていません。 ただ、公開の方向で進んでいますので、予定より

遅れるかもしれませんが、また見学していただ けるようになるのは確かです。

なお、公開といっても全く自由にご覧いただ けるわけではなく、地下壕での安全の確保とい う点から、必ずガイド付きの見学となります。 NPO法人アクションおっぱまは、横須賀市から ガイド団体として認定されています(他の認定 団体は、NPO法人よこすかシティガイド協会 と猿島公園専門ガイド協会)。貝山地下壕見学の 手続きについての詳細はまだ検討中ですが、今 年度中には決定し公表する予定です。どうぞ楽 しみにお待ちください。

(NPO法人アクションおっぱま理事長 昌子住江)

### 🏲 多くの団体を迎えた2019年度の第三海堡遺構の見学

2019年度の第三海堡遺構の一般公開では、団 体見学が多かったのが特徴的でした。開始以来 8年目で、団体数は12ともっとも多く、見学者 数は886人と団体だけで1,000人に迫る勢いで した。人数の多いところをあげると、横浜ウォー キング協会、海上自衛隊、NPO法人かわさき市 民アカデミー、私立麻布高校、宮城県立多賀城高 校、群馬県大泉町民生委員・児童委員協議会と 幅広く、特に高校(2校)からの見学申し込みは初 めてでした(詳細は「追浜あんず通信|第18号に 掲載)。今後は関心をもたれる団体への働きかけ も重要かと思われます。

イベント開催でも、約2,000人を集めた「海 道ウォーク」(神奈川新聞社主催)や、10月の 「Y・フェスタ追浜 |、11月の「アイクルフェア |

で多くの方に見学していただくことができまし た。毎月第一日曜日の一般公開は前年度と同程 度でした。ただ3月以降、新型コロナウイルスの 感染拡大でアイクルフェアは中止、一般公開も 取りやめとなりました。2020年4月9日から横 須賀市の方針として夏島都市緑地の休園が決ま り、公開中止が続いています。 (昌子住江)



年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
一般公開日 /人	335	362	367	477	387	653	350	364
団体/人( )団体数	417 (5)	192 (5)	265 (7)	151 (6)	143 (6)	277 (10)	123 (7)	886 (12)
イベント/人	約1,000	約500	973	2,538	約590	171	389	約2,400

### ● 2005年からご当地ワインを造り始めました。

「おっぱまワイン」という名称で地元の人に愛され、ぶどうの産地ではないが当時の規制緩和で、「おっぱまワイナリー」という名称を使いワインの醸造を始めました。思考錯誤しながら品

質も良くなり追浜ブランドとして定着しました。

しかしながら今から3年前、国 産ワインをブランド化し海外に 逆輸出をする国家戦略とワイン 産地を守ることやメーカーの思 惑も絡みながら、ぶどうの産地 で作られたぶどうを使用したも のだけが地名を名称に使うこと が制度化されました。

国税庁に働きかけたり弁護士 に相談したりと対策を考えまし たが、月日が経ち私たちの想い は伝わらず名称変更を余儀なく されました。名称を使えなくな ることは世間でも知られるようになり、「おっぱまワイン」の売り上げも低下してきました、名称の使用期限も近づきつつあり名称の案を色々と考えました。たまたま「おっぱまワイン」には

走水の湧水を使用しており、別名を「ヴェルニーの水」と呼ばれていたことにヒントを得、「ヴェルニーワイン」と名付けました。昨年の12月より販売を始めましたが、地元の方にはあまりなじめていないような気がしています。PR等をこれからしようという時期にご存知のように新型コロナウイルスが蔓延し、売り上げはストップ状態です。ラベル等の追加投資も含めて大変厳しい状況であります。

(NPO法人アクションおっぱま理事 追浜商盛会代表理事 織田俊美)



### 深浦湾若布収穫祭

2019年12月に種付けをした若布の収穫祭が2020年2月15日、朝から晴れ渡った空の下で行われました。昨年は気象条件のおかげで不作でしたが、今年は漁師の方や、海の市民の会のお世話のおかげで豊作。大漁のワカメが水揚げされました。大きな袋にどっさり入った若布は皆さ



んの食卓を豊かにしたことでしょう。今年は海の市民の会や地元の人たちが餅を搗き、お雑煮、餡、黄粉餅を販売、他に評判のアナゴ、蛸の串焼き、鯵から揚げなど、地元深浦漁港の海の幸を販売し、地産地消の食を楽しみました。

同じく、深浦漁港で開催予定の「魚祭り」は新

型コロナ禍を避けるため、中止となりました。コロナ禍の安全が確認された後、楽しいイベントを再開する予定です。

(NPO法人アクションおっぱま 河村副理事長)



## ■ 関東学院大学[コミュニティデザイン演習」の 「追浜梅プロジェクト」

関東学院大学人間共生学部共生デザイン学科 准教授

関東学院大学の共生デザイン学科では、主に 2年生を対象にして、「コミュニティデザイン 演習 という授業を行っています。毎年8月に行 われる夏のオープンキャンパスに訪れる高校生 や父兄を対象に、学生達が主体となって「デザイ ンカフェ」をオープンし、簡単な飲食を無償提供 します。「コミュニティデザイン演習」は、このカ フェを実現するための全てを教え、学生達が新 しいアイディアを考えながら実現していくとい う演習授業です。

授業で取り組むのは、カフェの空間デザイン、 コーヒーの焙煎方法、抽出方法、カフェオレの作 り方、ジュースの作り方、ケーキやクッキーなど の焼き菓子の作り方、そして、これらすべてを提 供するためのメニュー作りやパッケージ、接客 サービスのやり方など、全15回の授業で学生 達がアイディアを出しながらオリジナルのカ フェを作り上げ、オープンキャンパスの2日間、 運営するという実践的な授業です。

せっかくなので大学の周辺地域と連携したい と考え、2年前から、追浜地域の梅を使ったメ ニュー作りにも取り組んでいます。空き家再生 プロジェクトなどでお付き合いさせていただ いている追浜地域を歩いていると、とても沢山 の梅の木を目にします。お世話になっている「こ みゅに亭 | の遠藤さんにご相談して、地域の方々 をご紹介いただき、庭の梅の実を収穫させてい ただけることになりました。学生達はほぼ全員、 梅の実の収穫なんて初めての体験です。おっか なびっくり脚立に上り青い梅の実を取る作業を 見ているととても楽しそうです。この梅を暫く 追熟させ、梅ジュースや梅ジャムを作り、オープ ンキャンパスのカフェなどで提供しています。 暑い夏に梅ジャムの入った冷たい梅スカッシュ は、来場者にとても人気のメニューです。「私た ちが追浜で収穫した梅で作りました。」と紹介し ながら、お客さんにお出ししています。

さて、この学生にも人気のある楽しい演習で すが、今年はウィルス対策のため、大学の授業は 今のところオンラインで行われることになりま した。そのため、この演習は、例年通りの方法で 行うことができなくなってしまいました。大変 残念ですが、来年改めて、梅プロジェクトを再開 できることを祈り、楽しみにしております。



※追浜の住宅に生った梅の実を関東学院大学の 学生が集めて、ジャムやジュースを作る活動。 こみゅに亭カフェを通して呼びかけ、はっけ

ん倶楽部の渡邊さ んに協力していた だきました。

### | 研修受け入れ報告・山梨市役所(山梨県)

山梨市役所(山梨県)の研修として、10月3日 (木)午前10時に課長・課長補佐のみなさん10 名が来られました。

山梨市は、山梨県の北部に位置し、埼玉県秩父 市、長野県川上村と境を接しています。面積約 290km 人口は約35,000人、現在の市域は、平成 17年の三市町村合併で誕生しました。面積の8 割は山林が占め、笛吹川とその支流沿いの斜面 や平坦地には桃やブドウの果樹園が広がる風光 明媚な地です。JR中央線の山梨市駅から特急で 新宿駅まで約1時間半という利便性にも恵まれ ています。

今回の研修は、少子高齢化、人口減少の中、一 定の人口密度を維持しながらコンパクトなまち づくりを進めるため、当法人の「誰もが住み続け るためのまちづくり|「空き家・空き店舗プロ ジェクト に関心を持ったからとのことで、「こ

みゅに亭カフェ |と「おっぱまのま |を中心に熱 心に見学されました。山梨市として、こうしたコ ミュニティ活動にどうやって民の力を結集でき るかが課題とのことでした。

なお、山梨市の特産品はワインということで、 甲州ワインをお土産にいただきましたが、おっ ぱまワインも気に入っていただき、お土産に 買っていかれた方もありました。 (昌子住江)



### 第16回おっぱまワイン寄席

2020年2月27日開催予定だった「第16回おっ ぱまワイン寄席 は、新型コロナウイルスの感染 拡大のため、2月21日の横須賀市長メッセージ における市施設を使用するイベントの自粛方針 を受けて「延期」といたしました。楽しみにして いた皆様には大変申し訳ありませんが、安心し て開催できるまでしばらくお待ちください。柳 家喬太郎師匠からも、「現在の状況では致し方 なき事と存じます。改めて開催の流れになりま したら、伺わせて頂きます。その折にはよろしく お願い申し上げます。」とのメッセージをいただ いています。



追浜あんず通信19号 2020年5月発行

発 行 特定非営利活動法人アクションおっぱま

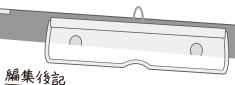
発行人 昌子住江

編 集 NPO法人アクションおっぱま編集委員会

#### 新型コロナウイルス流行のため延期

開催日が決まりましたら、ポスター、ホーム ページ、新聞等これまでと同様の方法でおしら せしますので、よろしくお願いいたします。

(昌子住江)



●「追浜梅プロジェクト」は、大学、こみゆに亭カフェ、 地域住民が結びついた面白い試みです。梅スカッシュ など品切れになるほどの人気は嬉しいですが、できれば 追浜でも成果を味わう企画ができるといいですね。

●コロナ騒ぎの中皆様お元気でしょうか。 大学の授業もオンラインになり戸惑いながらも学生

たちと進めています。また NPO 関係の会議も ZOOM やら TEAMS だのに移行していますがもっと簡単にならないと 皆が使えるようにならないですよね。もっとも若い <u> 学生たちはもうスマフォ世代だなあということも実感</u> しています。

ともあれ体調には皆様くれぐれもお気をつけください。

●通常の生活に戻れない日々が続いています。しかし 今後、新型コロナ禍の前の通常の生活に戻ることは 難しいでしょう。経済、社会活動すべてに変化が現れ ることになります。どんな状況変化が現れようと、 前向きにとらえ、現実を受け入れ健康に過ごしましょう。

(河村啓子)